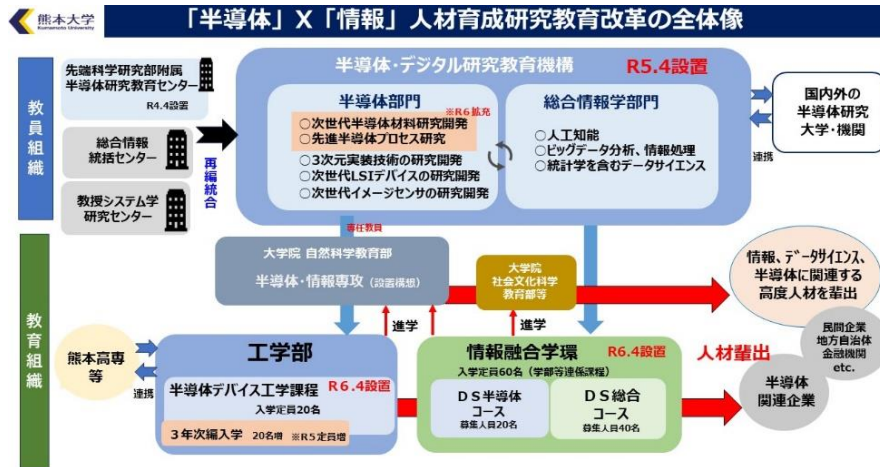


大学名 熊本大学

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

表題 「半導体」×「情報」人材育成研究教育改革の全体像



熊本県が策定した「くまもとDXグランドデザイン」を踏まえ、熊本大学でもDX化に向けた教育体制の見直しをはじめた時期に、世界最大級の半導体メーカーであるTSMCの熊本進出が公表された。これを機に、半導体・DX分野の高度専門人材の育成が、喫緊の課題となり、これまでにない変革スピードで大学の教育研究体制を整えることとなった。

令和4年度には、まず大学院先端科学研究部附属半導体研究教育センターを開設し、同年後学期から工学部に半導体工学副教育プログラムを開講した。さらに、令和6年度開設を目指し、学部組織に相当する学士課程「情報融合学環」と工学部の新課程「半導体デバイス工学課程」を同時に設置する準備に取り掛かった。情報融合学環は、データサイエンス(DS)を基礎に、DS半導体・DS総合の2コースからなる文理融合型学部として設計されている。これらの教育組織の改革と並行し、令和5年度には総合情報統括センター・教授システム学研究センター・半導体研究教育センターを統合した全学組織「半導体・デジタル研究教育機構」を立ち上げた。この機構の所属教員は、情報融合学環および工学部の教育を担うとともに、社会文化科学教育部および自然科学教育部の大学院教育を担うことで、熊本大学での「半導体」×「情報」の研究教育を実施する体制となっている。

・熊本大学 新教育組織
<https://www.soi.kumamoto-u.ac.jp/>

